

## 4 月 矢作川モニター報告書 左岸4.6Km～11.4Km

### 概況

暖かくなり、桜も終わり、冬の枯れ木から一転新芽が芽吹き、浅瀬には小魚が群れ、休日の西尾緑地公園では、サッカーの練習など人の動きもみられるようになりました。

### アユ遡上

4月12日 23号線下流の観察ポイントで20～30匹の集団でヒラを打っている小魚を見ました。ヒラの量、動きが秋に観察したシラハエと異なり、気にしていたアユではないかと思いました。23号線下流の観察ポイントで20～30匹の集団でヒラを打っている小魚を見ました。担当地区外ですが、魚の集まりそうな場所として23号線上流1kmの処に段差のある流れがありそこで確認すべく下調べをしていくことにしました。そこは”底固め”通称”ざーざー”と言い、4月から5月初めにかけて子アユがとれるとのことでした。

4月14日 そこでは4人が流れの中にタモを置き、昇りきれなかったアユがそこに入るのを待って捕まえていました。またサビキで釣っている人も調子よく鈴なりに釣っていました。2日後私も挑戦、サビキ、タモ置き、ともにアユを20匹捕獲することができました。6センチ～10センチの細長い痩せたあゆです。4匹は水槽、残りはから揚げにして試食しました。水槽のアユは、2匹水槽より飛び出し死にましたが、2匹は現在生きています。試食アユは味がなくおいしいとは言えません、若干砂も含まれていました。常連に聞くと、遡上するために砂を食べて体を重くするためと言っていました。ホントでしょうか？



### 粘土底の小魚

23号線下流の粘土底の浅瀬には小魚がたくさんいました。タモを上から被せるようにして7匹取ることができました。体長3センチくらいで魚種は小さすぎて判別できません。家の水槽ではタモロコに比し動きが活発なため、シラハエではないかと思い、観察をつづけています。

この浅瀬には色や形の異なる魚がいました。